

『時事直言』 No.1709 2024年11月15日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[mail] info@chokugen.com

[X(旧 twitter)] [t_masuda2019/](https://twitter.com/t_masuda2019)

[Youtube] 増田俊男チャンネル/

[instagram] [t_masuda2019/](https://www.instagram.com/t_masuda2019/)



時事評論家 増田俊男

(はなはだ不謹慎だか)増田は「戦争と平和」で儲ける

2020年3月新型コロナが世界中で猛威を奮ってから2022年2月24日ウクライナ戦争が始まるまでのアメリカのGDP(国内総生産)を見ると、(10億ドル単位で)2019年21,539、2020年21,354、2021年23,681であるが、ウクライナ戦争が始まった2022年は26,006、2023年27,720、2024年29,167(予)となっていて戦争が始まると急にGDPが伸びていることが分かる。

ウクライナ戦争の長期化に従ってGDPも拡大している。

資本主義の原則通りScrap(戦争) and build(建設)の繰り返しで経済は成長する。

トランプは自分の政権が始まったら即刻ウクライナ戦争とイスラエル・ハマス戦争を止めさせると断言している。

トランプがウクライナ戦争をどう止めさせるかはプーチンと阿吽の呼吸で納得し合っているはずである。

イスラエル・ハマス戦争は米空軍のバックアップでイスラエルがイランを空爆、全軍事施設を完全に壊滅して終わりとなる。

2025年1月20日にトランプがアメリカの第47代大統領になって一か月から二か月くらいで両戦争は終わるだろう。

戦争が始まってから欧州、ロシア、ウクライナの軍事産業は「この世の春」。

あらゆる産業に波及効果が大きい基幹産業である軍事産業が好況であれば数字が示す通り経済全体が好況になる。

2025年トランプによって二つの戦争が終わると軍事産業は業績悪化、経済全体が不況に向かう。

戦争中は黒を買い、戦争が終わりかけると黒を売る。

やり方次第で戦争でも平和でも儲けることが出来る。

トランプが何時、何をするかを明確に知っている私は、金儲けをしたい人に「手取り、足取り」の指南を示すことが出来る。

増田塾に入会すると毎日ライブで「本日の株式指南」と「本日の国際情勢」の動画がご覧いただける。

勉強しなければ儲からない！

大好評先行受付中！増田俊男の小冊子 Vol.144

『トランプとアメリカの運命』

現在増田俊男の小冊子 Vol.144 は好評先行受付中です。

内容は、*ディープステートに勝てない合衆国 *ドル発行権を持つFRBに勝てない合衆国 *中国に負けているアメリカ *トランプは世界を犠牲にして合衆国を勝利に導く *世界(日本を含む)の犠牲はかくの如しです。価格は、1冊4,800円(税・送料別)。

予定発送開始は、11月20日頃です。詳しいご案内、お申込みについてはマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX: 03-3956-1313、HP: <http://chokugen.com/>) まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX: 03-3956-1313) までお知らせ下さい。